

## 「盛岡支社・秋田支社における乗務員基地再編の概要について」団体交渉①

### 【東能代運輸区関係】

1 項 大館運輸区の廃止に伴い、奥羽北線で異常時が発生した場合においても輸送の安定性を確保するため、東能代運輸区が東能代駅～大館駅間の電車を運転できるように次期ダイヤ改正に向けて現場の意見を考慮して検討すること。

会社) 現場との意見交換でE C行路を乗務したいという意見が出されている。E C乗務するとすれば、乗務区間をどうするか。また、どのような行路ができるか検討している。

会社) 安全と安定を大前提に毎年のダイヤ改正を進めている。しかし、会社として効率性も求めていかなくてはいけない。バランスを見て判断していくことになる。

組合) 再編に伴いロングランが想定される。一人の乗務員に偏ることで乗務員運用も大変になる。

会社) 状況を見ながら手配することになるが、乗務員操配はスムーズにできると考えている。

組合) 新規運転士の養成区も減少する。東能代運輸区でできるようになれば他区の負担軽減にもつながる。

会社) 意見として受け止めているが、乗務時間や乗務距離の関係もありすぐにとはならない。東能代運輸区での新規養成は引き続き検討する。

### 【大館運輸区関係】

1 項 自己申告書による面談では施策実施に伴う本人希望が把握できないため、基地再編に伴う面談を実施し本人希望を把握すること。また、本体エルダー社員についても面談を実施し再度希望を把握すること。

組合) 具体的にどのようにするのか？

会社) 自己申告書の内容も変わる。これまでの将来ビジョンと中期的ビジョン、短期的なビジョンと分かれているため把握をしていきたい。再編に伴い異動時期が見えているので面談や普段のコミュニケーションの中で把握していく。

組合) 本人の状況や希望を聞いていくことは確認する。

組合) 本体エルダーは前提として異動を考えていなかったのが非常に不安を感じている。出向を希望することも可能になるのか。

会社) 本体エルダーの契約の中には「異動もあり得る」となっている。本人の希望もあるが契約の中で出来ることもあるので希望を把握していきたい。

組合) 提案時に示された行路枠数を組合員は見ている。東能代運輸区「運転士±0」「車掌+2」だが運転士として希望することも可能か。

会社) 絶対に秋田運輸区と弘前運輸区の2択ではない。

2 項 異動に伴い、施策実施以降の必要な教育内容が違うことや引っ越し等が発生することから内命を1月の休日明示時期に行い余裕を持って対応できるよう配慮すること。

会社) 前回の議論で貴側からの提起を受け止めている。事前に通知するということもあるため社員の方の思いは踏まえていく。

組合) 大館運輸区は今後津軽線の教育もあり、津軽線の教育を受けた方が秋田運輸区とはならないのではないか。

会社) 津軽線の教育時期はまだ具体的に決まっていない。時期を見据えた上で教育をしていくので基本的に津軽線の教育を受け、その後秋田運輸区へ異動とは考えていない。

組合) 会社としても臨機応変に対応してもらいたい。

組合) 弘前の社宅に引っ越したら部屋が汚かったということがあった住環境の整備はしっかりやってもらいたい。

会社) 一度に多くの人動くためしっかりやっていかなくてはいけない。